



みたけさん

第21号

令和8年11月1日発行

発行 三嶽神社

編集 権禰宜 新山敏彦

ホームページ <https://mitakejinja.com>



みたけの杜の北側にある刈入れ後の田んぼ。長雨が心配されましたが今年も沢山収穫されました

「神を想う心」を持つ

三嶽神社宮司 新山敏春

神を想う心とは、目に見えない大きな存在に感謝し、自分の生き方を静かに見つめる心ではないでしょうか。私たちは毎日の暮らしの中で、多くの恵みに支えられて生きています。朝の光、豊かな実り、人との出会い、家族のぬくもりも、当たり前ではありません。だからこそ、神を想う心を持つことは、感謝を忘れず、慎みをもって生きることにつながります。

神社への参拝は、その心を形にする大切な機会です。鳥居をくぐり、心を静めて手を合わせると、自分の願いだけでなく、今日まで無事に過ごせたことへのありがたさに気づかされます。神社は願いを伝える場所であると同時に、感謝をささげる場所でもあります。神前で頭を垂れるひとときは、乱れた心を正し、明日への力を与えてくれます。

また、家庭の神棚に手を合わせること、神を身近に感じる大切な習慣です。神棚に神札をおまつりして朝夕に拝むことは、神社に参拝するのと同じ気持ちで日々感謝を重ねる営みとされています。神棚の前で感謝をささげる時間は、自分の心を清め、家族の幸せや平穏を願う時間になります。こうした積み重ねが、素直で敬虔な心を育てていくのです。

神を想う心とは、特別な時だけのものではなく、毎日の暮らしの中で感謝と祈りを忘れずに生きる心です。その心を大切にするとき、人はより謙虚に、よりあたたかく生きられるのではないのでしょうか。

令和 8 年 新 嘗 祭 に 収穫物の奉納をお願いします！

11月22日（日）は新嘗祭（にいなめさい）が執り行われます。新嘗祭は所謂収穫感謝祭であり、お米や野菜などの秋の実りを捧げて神さまに感謝するお祭りです。

つきましては、今年収穫されたお米や野菜などを下記により神社に奉納の上、三嶽の大神さまに感謝の誠を捧げられますようご案内申し上げます。

記

①、奉納する収穫物について

例えばお米であれば一升、野菜であれば数個（数本）を紐で結ぶなど、少量でも構いません。



②、その他

ご奉納戴いたお米や野菜は、新嘗祭の際、ご神前にお供えさせて戴きます。また、奉納された収穫物と奉納者の名前を記載した奉納札を社殿に貼りご披露させて戴きますので、新嘗祭の前日までに社務所に直接お持ち願います。

お問い合わせ……090-8788-5530（新山神職）



七五三は氏神さま（三嶽神社）へ
前号でもご紹介しましたが、三嶽神社では、七歳、五歳、三歳のお子さまが、健康ですくすくと成長されるよう、七五三祈願を承っております。ご祈願を受けられたお子さまには、千歳飴はもちろん、プレゼントをご用意しておりますので、是非ご家族お揃いで氏神さまにお詣りいただきますよう、ご案内申し上げます。

神社Q&A 氏神神社ってなんです

なびてたを
り方も、元
まが、氏
し混次す
た同第が
。しに、
て氏「
用神地
ら氏縁
れ子関
より係
う、お
に呼い

（一あ域
う定の氏
じ区、氏
こ域こ
）にの
）と居神
い住社
すのお
まる鎮祀
す方座
。々する
るる居
氏周神
子辺社
ので地



神宮大麻・三嶽神社御神札 お年神・郷土暦を頒布します

ご家庭や職場の神棚に祀る伊勢神宮のお札（神宮大麻）、三嶽神社のお札、お歳神と、岩手の祭事や今年の運勢が掲載された郷土暦（令和9年版）をお配りします。お札やお歳神は年末に新しいものとお取替えいただき、大神さまの若々しいお力を授かりますよう、ご案内申し上げます。各地区においてお申込みをいただくか、三嶽神社社務所にお申込み下さい。初穂料は下記の通りです。

記

神宮大麻 1,200円
三嶽神社御神札 1,000円
お歳神 500円
郷土暦 500円



新春祈禱のご案内

新年元日から3月末日まで、新年祈禱を行います（一番祈禱（新年最初の祈禱）は元日午後2時から）。

新年にあたりご神前にて、ご家庭の家内安全や企業・団体の社業繁栄などをお祈りしましょう。

お問い合わせ・お申込みは三嶽神社社務所まで

（電話 090-8788-5530 担当・新山）

季節のご朱印

ご好評をいただいております「季節のご朱印」。11月は収穫に感謝して「秋の野菜や果物」、12月は冬に白い小花を密生させる「柊（ひいらぎ）」です。

日本の文化や伝統行事をあしらったご朱印ですので、参拝の際に是非拝受をお申し出下さい。



11月



12月